

(5) 銭額・船図他（文銭鳥居額、文銭社額、北前船） *図録は銭額1点、船額2点のみ

文銭の鳥居額は市内に16点で、最も古いものは奥野八幡神社のものである。船絵馬は吉原釜屋・春日神社と大成八幡神社の2点だけで、いずれも市外の人物の奉納である。



157 寛永通宝鳥居形額

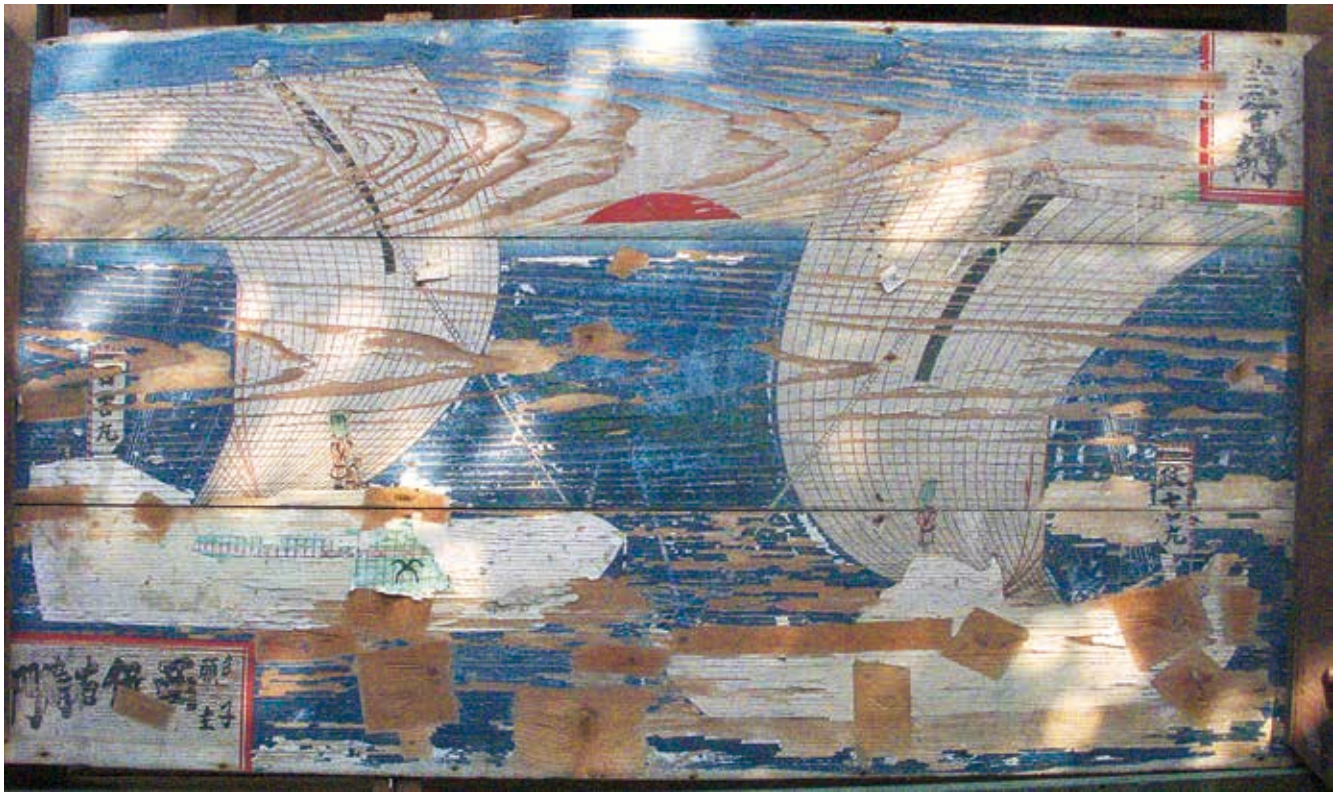
寺井・奥野八幡神社 天保13年(1842)

銭額では最も古いものである。



158 船大絵馬 (H15) 吉原釜屋・春日神社 明治

少ない船絵馬の1枚。



159 船絵馬(政吉丸、日吉丸) 大成八幡神社 年代不詳 (90×180)
政吉丸と日吉丸。



160 櫛豊二神図
湯谷神社 平成10年(1998) (60×105)
天照大神が岩戸から新殿に遷座したのち「豊磐間戸命と櫛磐間戸命の二神に殿の門を守衛させた」とある。

161 七福神皿額
佐野・狹野神社 昭和58年(1983)
橋田與三郎作

奉納皿額は数多くあるが、ここでは本品だけ紹介する。

